

ネットワークカメラ SDメモリーカード単独録画機能について (BB-SW170A、BB-ST160A シリーズ用)



本書をお読みいただく前に、「取扱説明書：基本編」を必ずお読みください。

【本書で使用しているマークについて】

- ➔ … 参照していただきたい項目を記載しています。
- お知らせ … 便利な使いかたやアドバイスなどの関連知識を記載しています。

【商標および登録商標について】

- SDHC ロゴは商標です。
- Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他記載の会社名・商品名などは、各会社の商標または登録商標です。

【表記について】

- 本書では、「ネットワークカメラ」を「カメラ」と表記しています。
- 本書では、「SDメモリーカード」と「SDHCメモリーカード」を総称して、「SDメモリーカード」と表記しています。
- 本書では、CD-ROM内の取扱説明書で参照していただきたい項目を以下のように表記しています。
例：➔ CD-ROM内の「取扱説明書：操作・設定編」－「本機の基本設定を行う」

機能

SDメモリーカードのみで、あらかじめ用意された5つの録画動作条件から簡単に録画の設定ができます。ネットワークへの接続や、パソコンでの設定は必要ありません。録画画像を確認するにはSDメモリーカードを本体から取り出し、パソコン上で参照します。

準備するもの

■ SDメモリーカード（別売品）

SDメモリーカード単独録画を行う場合は、必ずSDメモリーカードがフォーマットされます。保存したい画像やデータが記録されたSDメモリーカードは使用しないでください。

■ ACアダプター（別売品）

別売品のネットワークカメラ専用ACアダプターWV-PS16を準備してください。PoE給電(LANケーブルを接続)では単独録画の設定ができません。

■ ビューアソフトウェア

録画画像を参照するには、パソコンとネットワークカメラビューアソフト(NCV)が必要です。ネットワークカメラビューアソフト(NCV)は、パナソニックのサポートウェブサイト：<https://sol.panasonic.biz/security/netwcam/support/info.html> からダウンロードしてパソコンにインストールしてください。H.264画像の場合は、パソコン、Windows Media® Playerが必要です。

■ 設置時の確認用モニターまたはパソコン

カメラを設置するときにカメラの画像を確認したい場合は、テレビなどのモニターやパソコンを準備してください。

お知らせ

動作確認済みSDメモリーカード（別売品）

- パナソニック株式会社製（業務用SDメモリーカード）

※最新の動作確認済みSDメモリーカード情報などは、パナソニックのサポートウェブサイト
(<https://sol.panasonic.biz/security/support/info.html>)
を参照してください。

録画する

録画の設定を以下の手順に従って、行ってください。録画動作条件は、FUNCTIONボタンを押してFUNCTIONボタンとインジケータの表示で確認します。ボタンやインジケータの位置を「取扱説明書：基本編」で確認してください。➔「取扱説明書：基本編」－「各部の名前」

1 ネットワークケーブルを接続していない状態で、SDメモリーカードが挿入されていないことを確認し、電源を入れる

電源を起動後、FUNCTIONボタンが赤点灯します。

2 3分以内にFUNCTIONボタンを5秒以上押す

FUNCTIONボタンが緑点滅(表1・条件1)になりますので、録画動作条件を選択できるようになります。

3 FUNCTIONボタンを押して、録画動作条件を選択する

ボタンを押した回数に応じて表1のように設定が変わります。6回以上押した場合は条件1から繰り返されます。

お知らせ

- 電源を入れて3分以内にFUNCTIONボタンを一度も押さなかった場合は、SDメモリーカード単独録画ができなくなります。再度電源を入れてください。
- 一度設定した録画条件で録画したい場合は、手順2以降は行わずにSDメモリーカードを挿入してください。SDメモリーカードはフォーマットされずに録画が継続されます。

表1

条件/ FUNCTIONボタン を押す回数	FUNCTION ボタン	録画動作条件		録画時間の目安 (8GB)
			共通条件	
1	緑点滅	常時録画、H.264、QVGA、30fps	画質標準 上書きあり	11.8時間
2	緑点灯	常時録画、H.264、VGA、30fps		7.9時間
3	橙点滅	動作検知、H.264、QVGA、30fps プレアラーム時間8秒、ポストアラーム時間20秒		11.8時間
4	橙点灯	動作検知、H.264、VGA、30fps プレアラーム時間5秒、ポストアラーム時間20秒		7.9時間
5	消灯	動作検知、JPEG、VGA、1fps プレアラーム時間5秒、ポストアラーム時間20秒		24時間

※ H.264の場合の録画時間は、撮影環境や被写体により変わります。

4 SDメモリーカードを挿入する

SDメモリーカードを挿入する前に

- SDメモリーカードを挿入すると自動的にSDフォーマットが開始され、すべてのデータが削除されます。SDメモリーカードを挿入する前に、必要なデータがありましたらバックアップをお願いします。

SDフォーマット完了後に選択した録画動作条件で単独録画が開始されません。録画開始と同時にFUNCTIONボタンが緑点灯していることを確認してください。

インジケーターが赤点灯の場合は、SDメモリーカードに録画されていません。SDメモリーカードが次の状態でないか確認してください。

- 書き込みプロテクトされている
- SDメモリーカードが壊れている

5 「取扱説明書:基本編」の「カメラを設置する」に従ってカメラを設置する

テレビなどのモニターを接続すると、カメラの画像を確認することができます。また、LANケーブルを接続し、CD-ROM内のIP簡単設定ソフトウェアを使ってパソコンで参照することもできます。

- テレビ/モニターでの確認 → 「取扱説明書:基本編」-「カメラを接続する」
- パソコンでの確認 → CD-ROM内の「取扱説明書:操作・設定編」-「PCから画像を見る」

お知らせ

- SDメモリーカードを挿入したあとに録画動作条件を変更したい場合は、FUNCTIONボタンを押して録画を停止し、FUNCTIONボタンが消灯していることを確認し、SDメモリーカードを本体から取り出したあと、手順1からもう一度始めてください。

お知らせ

- 録画動作条件を選択してから、20分以内にSDメモリーカードを挿入しなかった場合は、録画動作条件が設定されません。手順1からもう一度行ってください。
- SDメモリーカード単独録画を動作させるため、カメラ設定の一部が自動的に変更されます。主な設定変更内容は以下の通りです。
 - SDメモリーカード設定
選択した録画圧縮方式で設定します。
 - JPEG/H.264設定
アスペクト比を4:3に変更します。
 - カメラ動作
セルフリターン設定を「off」に変更します。
 - アラーム
アラーム連動動作設定を「off」に変更します。
H.264動画録画を選択した動作条件で設定します。
 - 動作検知エリア
プリセットポジション以外の全領域を設定します。
 - スケジュール
録画条件により設定を変更します。

SDメモリーカードに録画された画像を確認する

- 1 FUNCTIONボタンを押して録画を停止する
- 2 FUNCTIONボタンが消灯していることを確認し、SDメモリーカードを本体から取り出してパソコンに挿入する
- 3 JPEGの場合はネットワークカメラビューソフト(NCV)で、H.264の場合はWindows Media Playerで、画像を確認する

パソコンでカメラの設定を行う

パソコンでカメラの設定をすると、より細かい設定ができます。

- 1 カメラとパソコンをクロスケーブルで接続し、CD-ROM内のIP簡単設定ソフトウェアを使ってパソコンにカメラのライブ画ページを表示します。(CD-ROM内の「取扱説明書:操作・設定編」-「PCから画像を見る」)

初期設定のIPv4アドレスは192.168.0.10です。

ユーザー名とパスワードの入力画面が表示されるので、入力し[OK]ボタンをクリックします。

初期設定のユーザー名とパスワードは以下のとおりです。

ユーザー名:admin

パスワード:12345

- 2 ライブ画ページの[設定]ボタンをクリックします。
- 3 以下、設定したい項目をパソコンで設定します。設定の詳細は、「取扱説明書:操作・設定編」を参照してください。

- カメラレンズの向きを変える
→CD-ROM内の「取扱説明書:操作・設定編」-「PCから画像を見る」-「ライブ画ページについて」
- レンズの向きをプリセットに登録する
→CD-ROM内の「取扱説明書:操作・設定編」-「画像・音声に関する設定を行う [カメラ]」-「プリセットポジションに関する設定を行う(プリセットポジション設定画面)」
- 動画録画に関する設定
→CD-ROM内の「取扱説明書:操作・設定編」-「アラーム設定を行う [アラーム]」-「動画録画に関する設定を行う [アラーム]」
- 動作検知の感度調整
→CD-ROM内の「取扱説明書:操作・設定編」-「アラーム設定を行う [アラーム]」-「動作検知の設定を行う [動作検知エリア]」